



2月号



お元気ですか？看護師です

こちらは、区ホームページ「就学前のお役立ち情報」でご覧いただけます！



2月は気温が低く空気が乾燥した日が続き、一年の中でも寒さが厳しい時期です。暦の上では春を迎えますが、まだまだ冬の感染症が流行りやすい時期です。引き続き、室内の加湿や空気の入れ替えとこまめな手洗いを行い、感染予防に努めましょう。



・ ・ やけどに注意しましょう ・ ・

0歳児から2歳児までのやけどの原因の多くは、食べ物・飲み物です(東京都生活文化局消費生活部生活安全課)。具体的にはカップ麺、汁物、熱い飲み物です。次にポットや炊飯器の蒸気や湯などです。子どもは大人の行動をよく見て興味関心があり見えなくても手の届く範囲に熱源がある場合は、とても危険です。68℃以上の温度1秒で重いやけどを負うこととなります。生活の中での熱源に十分注意をしましょう。



・ ・ やけどをしてしまったら ・ ・

乳児は、体の10%以上のやけどで命が危険な状態になるため、やけどの範囲を見てすぐに救急車を呼びましょう。範囲が狭くても、水泡やじくじくしている場合は患部を覆いすぐに受診しましょう。

患部を触らない様に直接または服の上から冷水等で冷やしましょう。



まだまだ冬の寒さと乾燥が続きます ・ ・ スキンケアで肌を守りましょう ・ ・

乳幼児の肌は大人と比べて薄く、乾燥しやすいうえに皮脂の分泌量も少ないためバリア機能が低く、冬季はかさかさや痒みなどの肌トラブルを起こしやすいものです。

お子さんの肌の特徴に合わせ、特に空気が乾燥する冬はこまめなスキンケアでデリケートな肌を健やかに保ってあげましょう。

スキンケアのポイント

- ・ 鼻の下や口の回りなど、顔の汚れは優しく拭きましょう。
- ・ 入浴後の保湿剤はタオルで優しく拭いた後、肌に湿り気があるうちに塗りましょう。

